

高知県浦尻川で採集されたムツハアリアケガニ

山川宇宙¹・京谷蒼馬²・清水孝昭³

¹筑波大学大学院生命環境科学研究科生物科学専攻

²東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科海洋資源環境学専攻

³愛媛県農林水産研究所水産研究センター



写真1 *Camptandrium sexdentatum* ムツハアリアケガニ (TKPM-AR 3569)

種の記録

Camptandriidae ムツハアリアケガニ科

Camptandrium sexdentatum Stimpson, 1858

ムツハアリアケガニ(写真1)

標本 徳島県立博物館節足動物標本(TKPM-AR) 3569, 1♀, 甲長 5.4mm, 甲幅 7.0mm, 浦尻川(厚生橋約 25m 上流左岸, 高知県土佐清水市浦尻), 2026年1月7日, 山川宇宙・京谷蒼馬採集.

種の特徴

甲はやや横長の六角形で, 心域等に隆起がある. 前側縁に眼窩外歯を含めて 3 歯を有し, 甲の中央に位置する 3 番目の歯は両側に突出する. 甲や脚は長い毛に覆われる. 歩脚の先端は鋭い. 以上の特徴が, 三浦(2008)のムツハアリアケガニの標徴と一致したため, 本種に同定された.

備考

本種は, 国内では宮城県以南の軟泥質の干潟に局所的に生息し, かつ埋立などによる生息地破壊が進行していることから, 「干潟の絶滅危惧動物図鑑—海岸ベントスのレッドデータブック」では準絶滅危惧に選定されている(逸見, 2012). 高知県では高知市(浦戸湾と流入河川)および須崎市(桜川), 黒潮町(蛸瀬川), 四万十市(四万十川)から記録されているが(酒井・細木, 2002; 町田ほか, 2004; 町田・佐藤, 2015; 町田, 2018), 個体数が減少しており, 絶滅危惧II類に選定されている(町田, 2018). 本研究により浦尻川

から得られた 1 標本は, 本種の土佐清水市初記録となる. 調査時には他にも本種 9 個体が確認されたが, 泥底は僅か 15m² 程の面積であり, 本種の生息は危機的状況にあると考えられる. 今後, 泥底が失われないような対策が求められる.

謝辞

標本登録にご協力いただいた徳島県立博物館の鈴木佑弥学芸員に深謝する.

引用文献

- 逸見泰久. 2012. ムツハアリアケガニ. 日本ベントス学会(編), 干潟の絶滅危惧動物図鑑—海岸ベントスのレッドデータブック. 東海大学出版会, 秦野. 207.
- 町田吉彦. 2018. ムツハアリアケガニ. 高知県レッドデータブック(動物編)改訂事業 改訂委員会(編), 高知県レッドデータブック 2018 動物編. 高知県林業振興・環境部環境共生課, 高知. 128.
- 町田吉彦・細木光夫・厚井 亨. 2004. 高知県浦戸湾と須崎湾の潮間帯で記録されたカニ類の絶滅危惧種と希少種(十脚目:短尾下目)(予報). 四国自然史科学研究, (1): 1-7.
- 町田吉彦・佐藤友康. 2015. 浦戸湾の魚類と甲殻類. 鏡川自然塾報告編集委員会(編), 活動報告書—鏡川自然塾報告—. 認定特定非営利活動法人環境の杜こうち, 高知. 93-94.
- 三浦知之. 2008. 干潟の生きもの図鑑. 南方新社, 鹿児島. 197pp.
- 酒井勝司・細木光夫. 2002. ムツハアリアケガニ. 高知県レッドデータブック[動物編]編集委員会(編), 高知県レッドデータブック[動物編]高知県の絶滅の恐れのある野生動物. 高知県文化環境部環境保全課, 高知. 226-227.

(2026年1月13日受付, 2026年1月15日公開)

連絡先: 山川宇宙(e-mail: uchukawaanago@gmail.com)
(Uchu Yamakawa, Soma Kyotani and Takaaki Shimizu. 2026. *Camptandrium sexdentatum* (Camptandriidae) collected from the Urajiri River, Kochi Prefecture. NS Fieldnote, 26002)